

2 令和6年度県税目別(課税標準、税率、納期限等)一覧

種別	民 税					業 税						
	個人	法人	利子割	配当割	株式等譲渡所得割	法人 (電気供給業(小売電気事業・発電事業・特定卸供給事業を除く。)、ガス供給業(特定ガス供給事業を除く。))及び保険業)	法人 (電気供給業(小売電気事業・発電事業・特定卸供給事業に限る。))のうち資本金又は出資金の額が1億円を超える普通法人が行うもの。)	法人 (電気供給業(小売電気事業・発電事業・特定卸供給事業に限る。))のうち左記以外の法人が行うもの。)	法人 (資本金の額又は出資金の額が1億円を超える法人(所得課税法人に限る。公益法人等、特別法人、人格のない社団等、投資法人及び特定目的会社を除く。))	法人 (左記以外の特別法人)	法人 (その他の法人)	個人
課税標準及び税率	所得割 4%	法人税制 (1)(7) 資本金の額又は出資金の額が1億円を超える法人 (4) 保険業法に規定する相互会社 (9) 資本金の額又は出資金の額が1億円で、かつ、従業員の数が300人を超える法人 (2)(1)に掲げる法人以外の法人等	支払を受けるべき利子等の額	支払を受けるべき特定配当等の額	特定株式等譲渡所得金額	各事業年度の収入金額	①小売電気事業・発電事業 令和2年4月1日以後に開始した各事業年度の収入金額、付加価値割額、資本金等の額	①小売電気事業・発電事業 令和2年4月1日以後に開始した各事業年度の収入金額、所得	平成16年4月1日以後に開始した事業年度分について、各事業年度の付加価値額、資本金等の額、所得	各事業年度の所得	各事業年度の所得	事業主控除額 年 290万円 白色申告者の事業専従者控除額 配偶者 86万円 配偶者以 50万円 (青色事業専従者については、適正給与額を必要経費とする。)
	均等割 1,500円 (県の森林環境税500円含む)		1.8%	5%	5%	5%	1%	②特定卸供給事業 令和4年4月1日以後に終了した各事業年度の収入金額、付加価値割額、資本金等の額	②特定卸供給事業 令和4年4月1日以後に終了した各事業年度の収入金額、所得	付加価値割 1.2% 資本割 0.5% 所得割 1.0%	年 400万円以下の所得金額 3.5% 年 400万円を超える所得金額 4.9%	年 400万円以下の所得金額 3.5% 年 400万円を超え、800万円以下の所得金額 5.3% 年 800万円を超える所得金額 7%
納期限等	市町村税と同じ(通常、6月、8月、10月及び1月中において条例で定める)	法人税と同じ(公共法人等は4月30日)	利子等について利子額を徴収した日の属する月の翌日10日までに申告納入	特定配当等について配当割を徴収した日の属する月の翌月10日までに申告納入 ※源泉徴収口座へ受け入れている配当に係る配当割については、翌年の1月10日までに申告納入	特定株式等譲渡所得金額について特定株式等譲渡所得割を徴収した日の属する年の翌年1月10日までに申告納入	事業年度終了日から2月以内に申告納付(ただし、中間申告納付にあっては事業年度開始の日から6月を経過した日から2月以内)						第1期 8月20日～31日 第2期 11月20日～30日 随時分(通知書に定める期日)
	普通徴収又は特別徴収による。					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>租税特別措置法第68条(特定の協同組合等の法人税率の特例)第1項の規定の適用を受ける法人の各事業年度に係る法人事業税については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所得のうち 年 400万円以下の金額…………… 3.5% 年 400万円を超え年10億円以下の金額…………… 4.9% 年 10億円を超える金額…………… 5.7% ・3以上の都道府県に事務所、事業所を設けて事業を行う当該法人で資本金の額又は出資金の額が1千万円以上の法人の所得…………… 4.9% <p>(所得のうち10億円を超える金額については、)</p> </div>						
備考												

種別	不動産取得税	県たばこ税	ゴルフ場利用税	自動車税種別割	釧 区 税		狩 猟 税	固定資産税	軽油引取税	自動車税環境性能割				地方消費税
					別紙1のとおり	砂鉱を目的とする釧区				砂鉱を目的としない釧区	税率			
課税標準及び税率	取得した不動産の価格(土地又は家屋) 4%	売り渡し等をしたたばこの本数1,000本につき1,070円	1人1日につき400円～1,200円 (別表2による)	別紙1のとおり	面積100アールごとに 200円	面積100アールごとに 200円	第一種銃猟免許に係る狩猟者の登録を受ける者で ① 本年度の県民税の所得割を納める者 16,500円 ② 第一種銃猟免許に係る狩猟者登録を受ける者で当該年度の県民税の所得割額を納付しないものうち地方税法第23条第1項第7号に規定する控除対象配偶者又は同項第8号に規定する扶養親族に該当するもの(農業、水産業又は林業に従事している者を除く)以外の者 11,000円	大規模償却資産の価格のうち所在市町村の課することのできる課税標準を超える部分の金額 1.4%	軽油の数量 1klにつき 32,100円	【自動車税環境性能割】(令和元年10月1日以後) 50万円を超える自動車を取得した場合に、取得価格の0～3%(環境性能に応じた税率)				消費税額の22/78(消費税率に換算すると2.2%に相当)(軽減税率の場合、消費税率に換算すると1.76%に相当)
	ただし、土地及び住宅 H20.4.1～R9.3.31までの取得 3%		非課税措置 ・ ゴルフ場を利用する日現在において年齢18歳未満の者 ・ ゴルフ場を利用する日現在において年齢70歳以上の者 ・ 上記以外の障害者 ・ 国民スポーツ大会のゴルフ競技参加者、又はその公式練習参加者 ・ 学校の体育授業、公認の課外活動のためにゴルフを行う学生、生徒、教員 ・ 国際競技大会のゴルフ競技参加者、又はその公式練習参加者		河床に存するもの延長1,000メートルごとに 600円	採掘釧区面積100アールごとに 400円	網猟免許・わな猟免許に係る狩猟者の登録を受ける者で ④ 本年度の県民税の所得割を納める者 8,200円 ⑤ 網猟免許・わな猟免許に係る狩猟者の登録を受ける者で当該年度の県民税の所得割額を納付しないものうち地方税法第23条第1項第7号に規定する控除対象配偶者又は同項第8号に規定する扶養親族に該当するもの(農業、水産業又は林業に従事している者を除く)以外の者 5,500円 第二種銃猟免許を受ける者 ⑤ 5,500円 放鳥獣保护区のみに係る狩猟者の登録 ①から⑤の税率の4分の1 対象鳥獣捕獲員又は認定鳥獣捕獲等事業者の従事者としての狩猟者の登録を受ける者 課税免除 許可捕獲等の許可を受け行った者又は許可捕獲等の従事者としての狩猟者の登録を受ける者 ①から⑤の税率の2分の1			【自動車税環境性能割】 自家用乗用車の例 対象・要件等 税率 R5.4.1～R5.12.31 R6.1.1～R7.3.31 ・電気自動車 ・燃料電池自動車 ・天然ガス自動車(平成21年排出ガス規制NOx10%以上低減又は平成30年排出ガス規制適合) ・プラグインハイブリッド自動車 非課税 非課税 ガソリン車・LPG車(ハイブリッド車を含む) 令和2年度燃費基準達成 かつ 令和12年度燃費基準85%以上達成 非課税 非課税 平成17年排出ガス基準75%低減 かつ 令和12年度燃費基準80%以上達成 1% 1% 又は 平成30年排出ガス基準50%低減 かつ 令和12年度燃費基準75%以上達成 1% 2% 令和2年度燃費基準達成 かつ 令和12年度燃費基準70%以上達成 2% 2% 令和2年度燃費基準達成 かつ 令和12年度燃費基準60%以上達成 2% 3% 上記以外 3% 3% クリーンディーゼル車 平成21年排出ガス規制適合 かつ 令和12年度燃費基準85%以上達成 非課税 非課税 令和2年度燃費基準達成 かつ 令和12年度燃費基準80%以上達成 非課税 1% 又は 平成30年排出ガス規制適合 かつ 令和12年度燃費基準70%以上達成 非課税 2% 令和2年度燃費基準達成 かつ 令和12年度燃費基準60%以上達成 非課税 3% 上記以外 3% 3%				
納期限等	通知書に定める期日	当月分を翌月末日までに申告納付	当月分を翌月15日までに申告納付	5月20日～31日 随時分 登録のとき	5月20日～31日 随時分 通知書に定める期日		知事からの狩猟者の登録を受ける日	第1期 4月20日～30日 第2期 7月20日～31日 第3期 12月15日～25日 第4期 2月20日～末日	当月分を翌月末日までに申告納付(納付)	登録又は届出のとき			譲渡割の申告納付は当分の間消費税と併せて国(税務署)に対して行う。 貨物割の申告納付は消費税と併せて国(税関)に対して行う。	
備考														